



ぴっころ らんど

キッズクリニック&ゲーム 通信 2月

友達をたくさんつくりたい！
体を動かして遊ぶのが好き！
サッカーをしてみたい！
そんなキッズを応援します！！

2月のクリニック

日時 2月10日(土)
9:30 受付開始
10:00 スタート
場所 室蘭市宮の森体育館

今年度最後となります

協会 いんぷめいしょん

サッカーサポーター 募集!

- *サッカーに興味のある方
 - *子どもの好きな方
 - *サッカー観戦の好きな方
- 詳細は、HPで

室蘭地区 サッカーNEWS

特報!!

3月31日(土)

コンサドーレ戦室蘭開催 決定

クリニックの子にも特典が・・・?

1月の クリニック&ゲーム 内容

【1・2年生の部】 37名参加 staff:新沼・矢田・三木

13:00~13:20	ウォーミング・アップ	しっぽとり・手つなぎ鬼~給水
13:25~13:40	ボールコントロール	ストップ&ゴー/ボールタッチなど~給水
13:45~13:55	シュート練習	
14:00~14:15	10VS10	ボール2個でゲーム

【3年生の部】 23名参加 staff:田澤・結城・土井

13:00~13:20	ウォーミング・アップ	手つなぎ鬼・しっぽとり・ストレッチ~給水
13:20~13:35	ボールコントロール	ターン・ウェッジコントロール
		ワンバウンドリフティング・ドリブル
13:35~13:50	シュート	
13:50~14:10	7VS7	ボール2個でゲーム
14:10~14:20	クールダウン・ストレッチ	

ボールを2個使うことで、「どこからボールがくるかわからない」「どちらのボールを優先させるか?」など、子どもたちの集中度は飛躍的にUP!頭がめまぐるしく働き、判断力も育てられます。

おふ・ざ・びっち

JFA監修 「めざせ!ベストサポーター」より

自立の第一歩

サッカーの試合に行くと、よく見かける光景があります。試合場でのチームの場所取り、飲み物も着替えも、何から何まで親が準備。子どもはただ単に用意された物を飲み、言われるままに着替えるだけです。いつも必ずそろっているから、「ありがとう」とさえ言わない選手もいます。

お手伝いいただくのはたいへんありがたいことです。でも多くは子どもたち自身で十分にできること。あるいは、子どもたち自身が、したほうがいい、する必要があるとわかることです。むしろ、子どもなりに、必要なことは自分で必要だと思って、自分でやるということこそ大事。

足りなかったり不便だったりしたら、自分で考えて、工夫したり相談したりで何とかする。そして次にはそうならないようにすることが大切です。

私達は、サッカーでは自立が大切であると考え、自立した選手を育成しようとしています。自立しているというのは、自分自身で判断して、責任を持って行動するということです。誰かにやれと言われたから、ではなく、自分自身がやりたい、やった方がよいと思うからやる。失敗も自分の判断によるもの。誰かのせいにはできません。

また、何から何まで大人がそろえてくれる環境に子どもたちが「あって当然」と思うことは間違いです。用意してもらえない環境では何もできない、適応できない子どもになってしまうでしょう。何から何まで常に用意されている環境を与えることがマイナスとなることもあるのです。

サッカーの合宿に集合したときに、スパイクシューズを忘れてきてしまった子がいました。その子に聞くと、いつも自分ではなく母親が用意しているので、自分のせいではないとのこと。親が電話をしてきて、届けに来ると言います。「運動靴でやらせるから結構です。」とお断りしました。3日間の合宿で、その子はすべりやすくてやりにくそうにはしていましたが、運動靴で最後まで練習をしていました。

その後、その子は決して忘れ物をしないようになりました。

お母さんによると、それ以来、必ず自分自身で用意をするようになったとのことでした。



サッカーは子どもを大人にし、大人を紳士にする
デトマール・クラマー

クリニックへのご意見・ご要望は、

室蘭地区サッカー協会 ホームページ(<http://mfa.main.jp>) 掲示板

室蘭地区サッカー協会

検索

または、プロジェクト事務局(三木 TEL/FAX 0143-50-3650)まで